

同窓会報

宮 西 高

一九九七年七月同窓会開催



平成九年度同窓会総会を

前にして

同窓会副会長 則竹功雄

向暑の候、同窓生の皆様には、ますますのご清祥にてご活躍のことと、拝察致します。

平素は、同窓会並びに母校のために深いご理解ご尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。母校も更なる発展と、魅力ある学校づくりを目指して、全校あげて取り組んでいますとお聞きしております。誠に有難く、心から御礼申し上げます。

昨年度の同窓会総会は、八月十一日に一宮平安殿にて開催され、ご多忙にもか

かわらず、旧職員十二名、現職員十五名の先生方に出席していただきました。また、一般会員につきましては、一一六名の出席がありました。懇親会の中で、全日制第十一回卒業生が学生同窓会を企画し、八十八名の参加がありました。あらためて、厚く御礼申し上げます。

さて、ここで母校の近況について報告させて頂きます。

母校の校舎は、建設後約三十年を経て、だいぶ老朽化しているため、平成四年度以降、その改修工事が進行しています。

まず、中館の改修が三年がかりで行なわれ、平成六年度をもって終了しました。続いて、平成七年度には本館（管理棟）の改修が行われて、内装外装ともリフレッシュされ、玄関の外壁に掲げられた母校の校章が一段と映えるようになりました。そして昨年は、北館の西半分の改修が行われました。北館は、主に理科の実験室・準備室のある校舎で、西高校が一宮高校西分校として開校した昭和三十九年度建築・完成した建物です。

そして今年も引き続き、現在大会議室や社会科教室のある北館東半分の改修が行われることになっています。

毎年の工事は、在校生諸君にとっては迷惑かも知れませんが、私たちのかつての学び舎が伝統を保ちながら、輝きを増していく姿はうれしいものです。もし、機会がありましたら、是非とも今度の母校の姿をご覧いたきたいと思

います。

今年度の総会は、八月十日(日)午後五時より一宮平安殿にて開催する予定です。

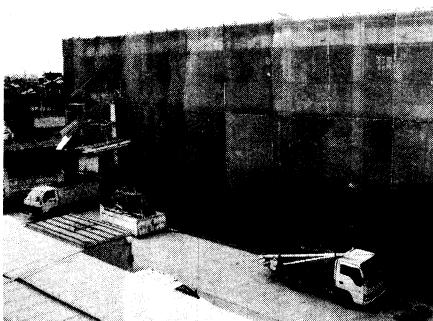
今回は、全日制第十回卒業生・第十二回卒業生が学年同窓会を計画しています。卒業以来、各界・各分野においてご活躍中だと思いますが、恩師の方々あるいは、級友、先輩、後輩の方々とのコミュニケーションをはかることも非常に意義のあることだと思います。どうか、積極的にご参加いただき、盛大な総会となりますようお願い申し上げます。

また、母校は来年度、創立三十周年を迎える。同窓会としてはこれまで五年ごとに会員名簿を刊行してきたのですが、来年秋に新しい会員名簿を発行すべく、現在準備を進めております。

同窓会報に同封してあります住所不明者リストをご覧いただければおわかりのよう、同窓会として住所をつかんでいない会員が相当数みえます。是非とも情報を

お寄せいただき、会員名簿がより充実したものになるようご協力を願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓生の皆様には、健康には十分留意されます。ご活躍下さいますよう、母校の発展とともにどうぞ祈り致しましてご挨拶とさせていただきます。



平成九年度同窓会総会のお知らせ

●日 時 八月十日(日) 午後五時より

●場 所 一宮平安殿

会 費 五千円(学生は三千円)

同封の葉書きで出欠をお知らせ下さい。一宮西口から四時半にバスがでますので、ご利用の方は出欠ハガキにご記入下さい。

昨年度の総会報告

平成八年度の総会は、八月十一日(日)午後五時より、一宮平安殿にて開催されました。会は、傍島章介副会長による開会の言葉によつて始まり、山内進会長のあいさつ、母校を代表しての岩田隆教頭先生のごあいさつを経て、来賓を代表して加藤十八先生からもごあいさつをいただきました。その後、議事に移り、平成七年度の事業報告と会計報告がなされ、ともに承認されました。ついで役員選出にはいりましたが、母校教職員の人事異動に伴つて、書記を前教頭の浜家正兵先生から新教頭の大嶋浩先生に変更し、あとは現行のままでするという、事務局からの提案が承認されました。引き続き、平成八年度の事業計画と予算案が審議され、承認を受けました。

今回の総会には、ご多忙にもかかわらず旧職員十二名、現職員十五名の先生方に出席していただきました。あらためて厚く御礼申し上げます。また一般会員については、別項にありますように、金日制第十一回卒業生が総会の中で学年同窓会を企画したことであつて、出席者は全部で一六名を数えました。

総会後半の懇親会は、会場を別室に移し、小川健一副会長の開会の言葉とともに始まりました。柘植敬一郎先生の乾杯の言葉により出席者は会食に移り、一瞬にして会場はなごやかな雰囲気に包まれました。途中、学校紹介ビデオの上映もあり、母校の現在の姿に自分たちの高校時代を重ね合わせて、往時をなつかし



学年同窓会を振り返り

十一回生 平松雅夫

「久し振り、二十年ぶりだね。」の言葉が、会場のあちらこちらで聞かれた第一次学年同窓会が、西高校総会の会場をお借りして盛大におこなわれました。

同窓会役員会では、総会の参加者を増

む光景も見受けられました。一時間半あまり歓談した後、全員で校歌を元気よく歌い、最後は林幸男先生のご発声による万歳三唱で締めくくり、平成八年度の総会は盛会のうちに幕を閉じました。

やす方策として、卒業二十年目を迎える学年の同窓会を支援して往復はがきの発送や総会後の会場を提供することを決定しました。

これを受け、西高の同窓会事務局に所属している私は、学年幹事の方と相談をし、学年同窓会を企画することになりました。

はがきへの一言通信、返信はがきの投函がない人への電話勧誘といった手間のかかる準備の多くは、女性の幹事の方々の好意で着々と事が進みました。

会では、懐かしい顔の人たちが、一〇三名も集い、それぞれに二十年の時を振り返り、高校時代の思い出を無邪気に語り合いました。また、矢内、木全、斎藤先生といった恩師の方々にも駆け付けていただき、会を一層盛り上げていただきました。

当初、総会との抱き合せの会となつてゐるために不満に思ふ人がいるのではないかと心配していましたが、そんな事よりも、会を企画したことへの感謝の声の方が多く聞かれ、胸のつかえもなくなりました。

第二次会では、矢内、斎藤の両名の恩師をはじめ、八十名程の参加を得ることができ、楽しい一時を過ごすことができました。

郵送料についてのお願い

昨年度は約二十五万円のカンパをいたしました。ありがとうございました。

今年度も引き続き、同窓会報等、郵送料のカンパをお願いしく存じます。一口一〇〇〇円で同封の振り込み用紙を御利用下さい。

同窓会名簿についての御案内

本校同窓会名簿の依頼業者は「関西廣済堂」です。これ以外の業者は本校同窓会とは一切、関係ありません。なお、次回の同窓会名簿の刊行は、来年(平成十一年度)を予定しております。



して同期生との再会を果たしたいと思いまます。

昨年度の総会報告

平成八年度の総会は、八月十一日(日)午後五時より、一宮平安殿にて開催されました。会は、傍島章介副会長による開会の言葉によって始まり、山内進会長のあいさつ、母校を代表しての岩田隆教頭先生のごあいさつを経て、来賓を代表して加藤十八先生からもごあいさつをいただきました。

その後、議事に移り、平成七年度の事業報告と会計報告がなされ、ともに承認されました。ついで役員選出に

はいりましたが、母校教職員の人事異動に伴って、書記を前教頭の浜家正兵先生から新教頭の大嶋浩先生に変更し、あとは現行のままでするという、事務局からの提案が承認されました。引き続き、平成八年度の事業計画と予算案が審議され、承認を受けました。

今回の総会には、ご多忙にもかかわらず旧職員十二名、現職員十五名の先生方に出席していました。あらためて厚く御礼申し上げます。また一般会員については、別項にありますように、全日制第十一回卒業生が総会の中で学年同窓会を企画したこともあるて、出席者は全部で一一六名を数えました。

総会後半の懇親会は、会場を別室に移し、小川健一副会長の開会の言葉とともに始まりました。柘植敬一郎先生の乾杯の発声により出席者は会食に移り、一瞬にして会場はなごやかな雰囲気に包まれました。途中、学校紹介ビデオの上映もあり、母校の現在の姿に自分たちの高校時代を重ね合わせて、往時をなつかし

む光景も見受けられました。一時間半あまり歓談した後、全員で校歌を元気よく歌い、最後は林幸男先生のご発声による万歳三唱で締めくくり、平成八年度の総会は盛会のうちに幕を閉じました。

やす方策として、卒業二十年目を迎える学年の同窓会を支援して往復はがきの発送や総会後の会場を提供することを決定しました。

これを受け、西高の同窓会事務局に所属している私は、学年幹事の方と相談をし、学年同窓会を企画することになりました。

はがきへの一言通信、返信はがきの投函がない人への電話勧誘といった手間のかかる準備の多くは、女性の幹事の方々の好意で着々と事が進みました。

会では、懐かしい顔の人たちが、一〇三名も集い、それぞれに二十年の時を振り返り、高校時代の思い出を無邪気に語り合いました。また、矢内、木全、齊藤先生といった恩師の方々にも駆け付けていただき、会を一層盛り上げていただきました。



学年同窓会を振り返り

十一回生 平松雅夫

「久し振り、二十年ぶりだね。」の言葉が、会場のあちらこちらで聞かれた十

一回生学年同窓会か、西高校総会の会場もあり、母校の現在の姿に自分たちの高

校時代を重ね合わせて、往時をなつかし

して同期生との再会を果たしたいと思

ます。



同窓会名簿についての御案内

郵送料についてのお願い

昨年度は約二十五万円のカンパをいたしました。ありがとうございました。今年度も引き続き、同窓会報等、郵送料のカンパをお願いしたく存じます。一口一〇〇〇円で同封の振り込み用紙を御利用下さい。

この会を通して、再会の悦びと共に、社会人として立派に活躍している友人た

ちの姿を見ることができ、自分の人生を振り返ることができる良い機会を得ました。

五年、十年後にも、この会を是非企画

して同期生との再会を果たしたいと思

ます。

本校同窓会名簿の依頼業者は「関西廣

済堂」です。これ以外の業者は本校同窓会とは一切、関係ありません。なお、次回の同窓会名簿の刊行は、来年(平成十

年度)を予定しております。

東京同窓会

二十九回生 池田成一郎

みなさん!! こんにちは。僕は平成七年卒業生の池田です。

僕は今、東京で学生をやっています。昨年の十二月に、西高東京支部の親睦会(飲み会)のお誘いがあり、出席しました。その会には、なつかしい同級生や歳の離れた先輩方、さらに、西高から西野先生と伊藤(和)先生にも多忙な中、来ていただきました。

初めてのうちは、「まあ、またたりとした会になるのでは!」と思つていました。

今までに一度も会ったことのない人ばかりだったからです。ところが、みんな熱い!! もう三十分も経つと歳の差なんてしまたく関係なく仲よくなりました。今日は「無礼講」という感じで先生方もとも打ち溶けることができました。かなり気分がよろしかったのかK・I先生は、会が終了した後あの新宿歌舞伎町でずっとけたそうです。ごくろうさまでした。

第二次会、三次会になると、みんな語りモードになつきました。もちろん内容は西高についてです。西高について語らせたらみんな後を引こうとしません。卒業しても尚、それだけ西高が好きなのです。誇りを持っているのです。

西高のメインは、勉強も大切ですが、生徒にとつては西高祭だと思います。僕も含め、その会にはたまたま、群団長、リーダー長etc.やつていた人が多くいたので、特に西高祭の話では盛り上がりまし

た。一、二ヵ月かかつて構想を練り上げ、全校生徒で一つの感動を呼び起こすことができる西高祭。あの感動を育て上げた西高生にしか分からない思いを朝五時まで語りました。

みなさん、どうですか。僕たち卒業生は、今でも西高魂を忘れません。西高が大好きなのです。

いや、まさか西高を卒業して、こんな熱い思いをした日は久しぶりだつたのでとてもうれしく思いました。もみなさんの中で遠方の学生の人は、是非このような会に参加してみて下さい。どの先輩も垢抜けていいことを教えてくれるかもしれませんよ。



ご退職の先生からの メッセージ

「心の古里」 西高を去つて

前教頭 岩田 隆
(現平和高校長)



思えば長い年月でした。私にとつて西高は三つ目の学校でしたが、転勤した当初には、その後二十二年もの長きに渡つてお世話をすることは思いもよりませんでした。着任した年は、学校群制度が始まって間もない頃で、一宮高校をライバルとして、職員も生徒も目標に向つて意気盛んでした。ちょうどその年に創立十周年式典が一宮市民会館で行われ、以来、二十周年、三十周年と三つも周年行事を体験できたのも奇縁でした。この間に出会った生徒、教職員、事務職員、同窓会やPTAの役員の方々の懐しい顔が頭に浮かび、感無量です。

特に、群時代の昭和五十年代の後半は、色々な意味で、本校にとつても、私自身にとつても試練の時代でした。当時私は学年主任でしたが、色々苦労しながらも、皆さんに支えられ、次々に新しい指導企画を導入しました。あの激動の時代が、

ある意味で本校の新しい出発点となり、その流れは現在まで脈々と続いてきたよう気がします。

西高は、時代の変化や制度の変化等の影響を受けて少しずつ様変わりをしてきましたが、それでも一貫して変わらないのは、生徒一人一人の可能性を三年間で最大限に伸ばす体制と心意気であります。そしてそれを支えているのは、職員集団の結束と職員・生徒・家庭の信頼関係であると思います。しかも、教育活動の力点が、学習指導に留らず、部活動や学校行事等にも及んで、華しい実績を挙げていることも誇るべきです。



東京同窓会

二十九回生 池田成一郎

みなさん!! ここにちは。僕は平成七年卒業生の池田です。

僕は今、東京で学生をやっています。

昨年の十二月に、西高東京支部の親睦会(飲み会)のお誘いがあり、出席しました。

その会には、なつかしい同級生や歳の離れた先輩方、さらに、西高から西野先生と伊藤(和)先生にも多忙な中、来ていただきました。

初めてのうちは、「まあ、またりとし

た会になるのは!」と思つていました。

今までに一度も会ったことのない人ばかりだったからです。ところが、みんな熱い!! もう三十分も経つと歳の差なんてしまつたく関係なく仲よくなりました。

「今日は無礼講」という感じで先生方も打ち溶けることができました。かなり気分がよろしかったのかK・I先生は、会が終了した後あの新宿歌舞伎町でずっと聞かれていました。

第二次会、第三次会になると、みんな語りモードになつてきました。もちろん内容

は西高についてです。西高について語ら

せたらみんな後を引こうとしません。卒業しても尚、それだけ西高が好きなのです。

西高のメインは、勉強も大切ですが、生徒にとっては西高祭だと思います。僕も含め、その会にはたまたま群団長、リーダー長etc.やっていた人が多くいたので、特に西高祭の話では盛り上がりまし

た。一、二ヵ月かかる構想を練り上げ、全校生徒で一つの感動を呼び起こすことができる西高祭。あの感動を育て上げた西高生にしか分からぬ思いを朝五時まで語りました。

みなさん、どうですか。僕たち卒業生は、今でも西高魂を忘れません。西高が大好きなのです。

いやく、まさか西高を卒業して、こんな熱い思いをした日は久しぶりだったのです。とてもうれしく思いました。もしみなさんの中で遠方の学生の人は、是非このような会に参加してみて下さい。どの先輩も垢抜けていいことを教えてくれるかもしれませんよ。

前教頭 岩田 隆
(現平和高校校長)

「心の古里」 西高を去つて

メツセージ

ある意味で本校の新しい出発点となり、その流れは現在まで脈々と続いてきたよ

うな気がします。



思えば長い年月でした。私にとって西

高は三つの学校でしたが、転勤した当初には、その後二十二年もの長きに渡つてお世話をすることは思いもよりませんでした。着任した年は、学校群制度が始まって間もない頃で、一宮高校をライバルとして、職員も生徒も目標に向つて意気盛んでした。ちょうどその年に創立十周年式典が一宮市民会館で行われ、以来、二十周年、三十周年と三つも周年行事を

体験できたのも奇縁でした。この間に出会った生徒、教職員、事務職員、同窓会やPTAの役員の方々の懐しい顔が頭に浮かび、感無量です。

特に、群時代の昭和五十年代の後半は、色々な意味で、本校にとつても、私自身にとっても試練の時代でした。当時は学年主任でしたが、色々苦労しながらも、皆さんに支えられて次々に新しい指導企画を導入しました。あの激動の時代が、



西高はここ数年で装いも新たになり、色々な意味で最も条件の整った時代を迎えていました。私の「心の古里」である西高の更なる発展と、ここを巣立つた諸君の社会での活躍を心から祈っています。

西高はここ数年で装いも新たになり、色々な意味で最も条件の整った時代を迎えていました。私の「心の古里」である西高の更なる発展と、ここを巣立つた諸君の社会での活躍を心から祈っています。

西高は、時代の変化や制度の変化等の影響を受けて少しずつ様変わりをしてきましたが、それでも一貫して変わらないのは、生徒一人一人の可能性を三年間で最大限に伸ばす体制と心意気であります。そしてそれを支えているのは、職員集団の結束と職員・生徒・家庭の信頼関係であると思います。しかも、教育活動の力点が、学習指導に留らず、部活動や学校行事等にも及んで、華しい実績を挙げていることも誇るべきです。

学園だより

六一名になりました。
また、卒業生に卒業記念品として
証書筒を贈呈しました。

昨年度の同窓会活動報告

一、同窓会総会の開催

宮平安殿にて開催。

（四）現職員一 般会員合わせて
一四三名の参加をいただきまし
た。

『同窓会報』第十三号の発行
七月一日に発送しました。

三 同窓会報酬送付料カンパの実施
一口千円で、平成八年度中に約
二一五万円集まりました。

二十五万円集まりました

七月に母校の「進路情報室」に
クーラーを一台寄贈しました。

五、東京支部会の開催

十一月十六日（土）は新宿にて開催されました。学校側から西野忠雄先生・伊藤和明先生が参加されました。

六、同窓会入会式および卒業記念品贈呈

平成九年二月二十八日に実施。
第三十一回生三三五名が同窓会
に入会し、会員総数は一万二三

大学合格者数一覽

(平成九年度入試)

1

退職
職員の異動
(敬称略)

北海道大	1	名古屋大	25	広島大	1	早稲田大	2	南山大	84
東北大	2	愛知教育大	27	名古屋市立大	8	成蹊大	2	金城大	60
筑波大	2	名古屋工業大	32	愛知県立大	1	東京理科大	3	淑徳大	36
横浜国大	1	岐阜大	28	愛知県立看護大	5	日本大	4	楣山大	52
信州大	2	三重大	18	岐阜薬科大	1	駒沢大	5	名城大	62
金沢大	6	滋賀大	11	大阪府立大	1	愛知医科大	2	同志社大	16
福井大	3	京都大	1	大阪市立大	1	愛知大	83	立命館大	36
静岡大	11	奈良女子大	2	名大医技短	14	愛知学院大	47	国公立大合計	204

運動部の合宿

運動部の合宿

部活動の成績

第三十一回 生年度幹事